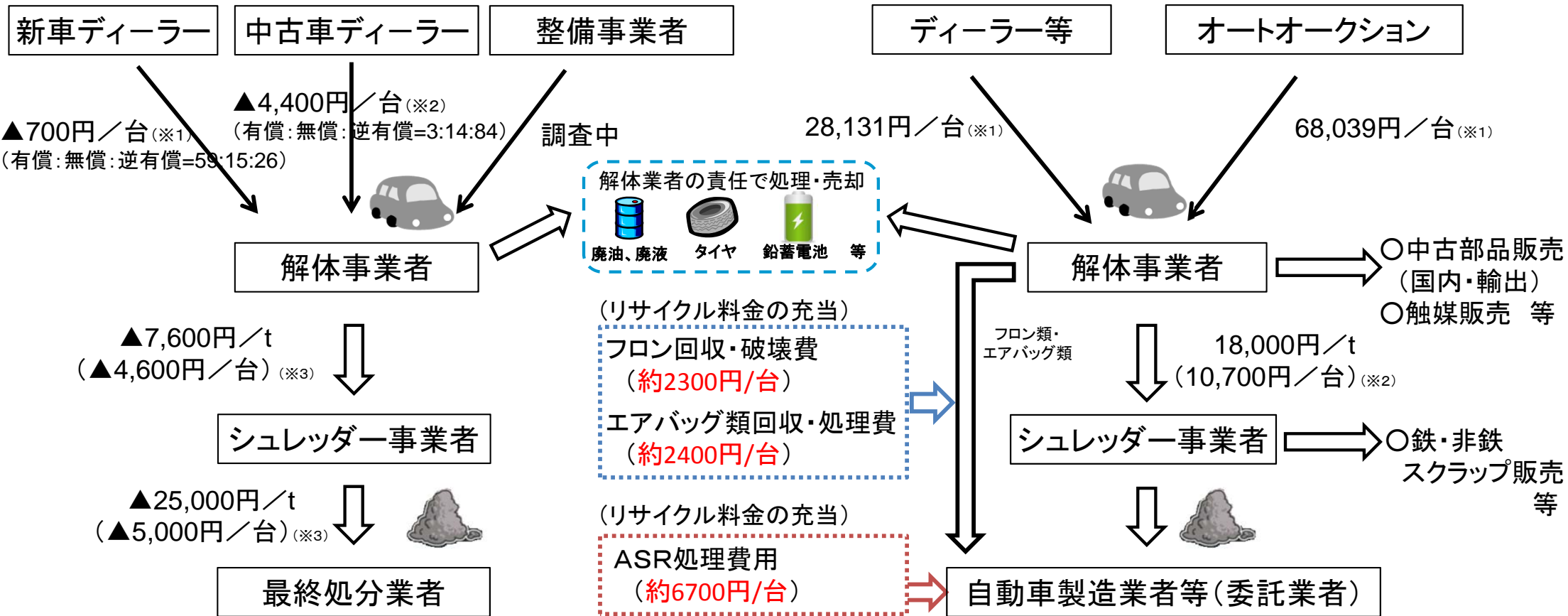


使用済自動車の流通状況

➤ 自動車リサイクル制度では、特に処理に費用を要する3品目（フロン類・エアバッグ類・ASR）について、ユーザーがリサイクル料金を負担し、自動車製造業者等が引き取って、再資源化することにより、使用済自動車が概ね有価で流通し、市場原理によりリサイクルシステムが機能する状況を創出した。

【制度制定前（平成13年度調査時）】

【制度制定後（平成25年度調査時）】

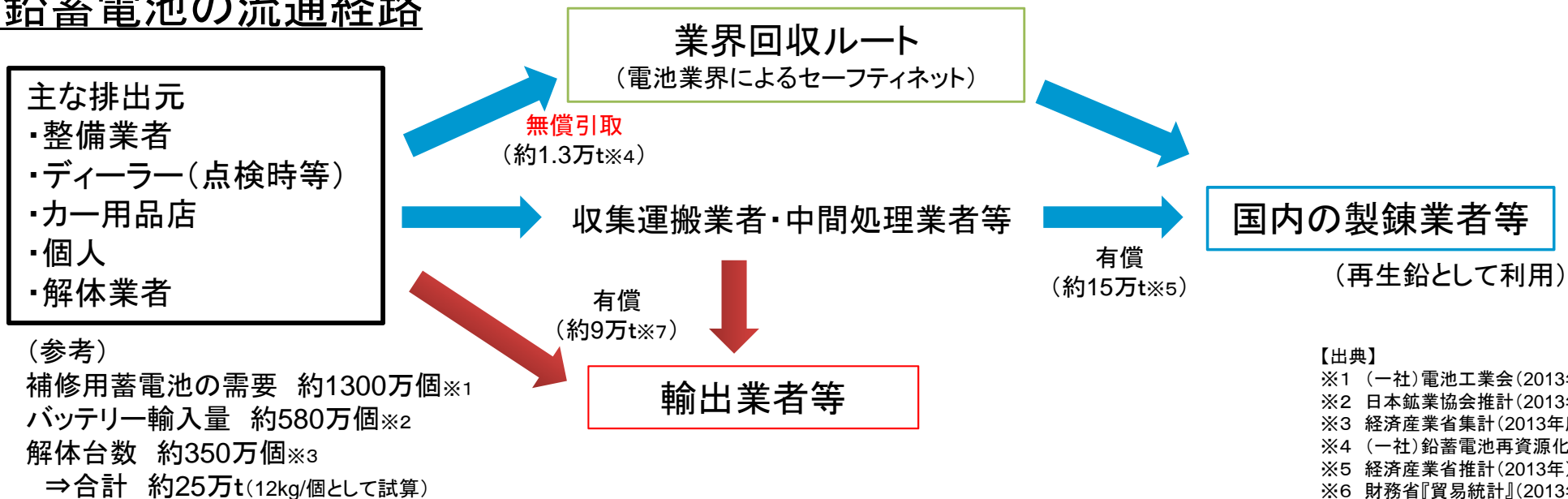


(※1) (社)日本自動車販売協会連合会によるデータ (※2) (社)日本中古自動車販売連合会によるデータ
(※3) (社)日本鉄リサイクル工業会によるデータ

(※1) 自動車リサイクルに係る解体業者の経営実態等調査
(※2) (一社)鉄リサイクル工業会によるデータ

整備・修理・解体段階を含めた自動車部品の流通状況

廃鉛蓄電池の流通経路



廃タイヤの流通経路

